
蜜柑とこたつ。

志魔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蜜柑とこたつ。

【Nコード】

N3448J

【作者名】

志魔

【あらすじ】

コタツ、それは冬の魔物である。

(前書き)

会話文のみです。

小説と言えるようなものでもありませんが、
通勤途中とかにでもさくっと読めるお話です。
いわゆる「あるある」話。

コタツ、それは冬の魔物————。

「オカン、そろそろコタツ出しましょうぜ？もう冬！寒い！」

「あん？コタツ？出すの面倒なんだけど……。」

「OK、分かった。私が出すから！出して良いでしょ？」

「よし！良いわよ、出してきなさい。」

「おう！……！あつ、ちょ、嵌めたなッ！？！」

「自分で出すって言ったでしょ。ほら、早く出してきなさいよ。」

「ぐうう……ッ！！仕方ない、出してきてやりますわよ！」

ー30分後ー

「おおお……っ！来たコレ！！冬の救世主^{メシア}！！」

「やっぱり冬はこれよねー。日本の文化万歳？ふふ。」

「「あったまるわー……。」

ー20分後ー

「……あ、そういえば蜜柑あるわよ。」

「え！マジで？ちょ、持ってくる！」

「いってらっしゃーい。」

「……！あつ、また嵌められたッ！？」

「持ってくるんでしょ、早く行ってきたらー。体が冷えるわよ。」

「！ぐぐう……。ッ！！」

ー5分後ー

「寒い寒い寒い！」

「おかえりー……。ちょっと、私の蜜柑は？」

「しつりませーん。これは私の蜜柑ですからあー……。もぐもぐ。」

「……………」

「!ちょ、何勝手に取ってんの!私のだってば!」

「そんなケチケチしてると性格悪くなるわよ。……もぎゅもぎゅ。」

「むむむ……!!しかし蜜柑は美味い。」

「ええ、それは同意するわ。」

「「……あー……幸せー……。」」

コタツ、それは冬の魔物———。

コタツ、それは長きに渡って人の心（主に母の）を掴んで離さない隠れた日本の風物詩である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3448j/>

蜜柑とこたつ。

2010年10月17日06時25分発行